

2023  
11/10  
第165号

# 議会だより のた

## 主な内容

新議員紹介  
第1回定例会（令和5年9月）  
村政を問う（一般質問）

秋晴れの10月3日、野田小学校のマラソン大会が十府ヶ浦公園で行われました。みんな元気によーいどん！



# 新しい議会構成決まる

8月10日、議会改選後の初議会（臨時会）。新たに議員当選した10名が参集し、議長・副議長選挙を行ったほか、各委員会構成などが決定しました。



- ① 抱負・ひとこと
  - ② 好きなことは・座右の銘など
  - ③ 村のおすすめスポット
- 議員番号・氏名・職名・  
地区・各委員会



議員番号10  
米田 忠一 議長  
(米田)

① 私は、村民の代表である議員各位の意見に対し、真摯に耳を傾け、どの選択が村民にとって最良なのか、議論した上で決して行く姿勢が大切であると考えております。

この様なスタンスで議会運営を誠実に進めて行く所存ですので、お気付きの点などありましたら、お知らせ下さるようお願いいたします。

- ② 「誠実」
- ③ 和佐羅比山からの野田の眺望



議員番号9  
米田 徳一郎 副議長  
(上泉沢)  
総務教民常任委員会 委員

① 皆様のご支持を受け3期12年間議員として務めさせていただきました。

そのご恩にお応えする為に農林漁業を再興し、村民の「衣食・住」を守り「豊かなむらづくり」を目指し更に努力して参ります。

- ② 「群れず・媚びず・諦めず」
- ③ 十府ヶ浦海岸



議員番号1  
山田 陽子 議員  
(中平)  
総務教民常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員

① これまで多くの村民の皆様を支えられてきましたことに感謝申し上げます。これからも「お一人おひとり」に寄り添い、安心して暮らせる野田村を皆様と共に全力を尽くして創っていくことに努めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

- ② 「為せば成る為さねば成らぬ何事も」
- ③ 和佐羅比山からの山・海・空の村の絶景



議員番号2  
小野寺 光男 議員  
(下明内)  
産業常任委員会 委員長  
議会運営委員会 委員

① 皆さまのご支持をいただき、3期目を迎えました。初心を忘れず、皆さまの声を聴き、安全・安心な村づくりのため、働く決意です。

② 「温故知新」

③ 防潮堤からの海の眺め

- ② 「意志あるところに道は開ける」
- ③ 玉川野営場からの日の出



議員番号3  
中川 大和 議員  
(玉川)  
総務教民常任委員会 委員長  
議会運営委員会 委員長

① 元気で明るい地域づくりを目指して、生活基盤の充実はもちろんのこと、村産業の賑わい創出や、子育てしやすい環境の整備、高齢者の福祉の充実等、村民の声を行政に届け反映できるように誠実に努めてまいります。





議員番号4

たんの かずこ  
丹野 和子 議員

(本町)  
産業常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員

①「これまで『のだ民報』を発行して、私の質問を中心に議会のようすを皆様にお知らせしてきました。今後発行を続けるとともに、村民の生活に密着した課題をとらえ、行政に反映できるよう努力してまいります。」

②「農は国の本なり」  
③十府ヶ浦公園盛土の散歩道



議員番号5

なかがわ のぼる  
中川 昇 議員

(玉川)  
総務教民常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員

①多くの村民の皆さまに支えられた4年間でした。若い人や女性が活躍できる環境の整備、高齢者の医療、介護の充実や子育て支援の拡充等、皆さまの声を村政に反映できるよう頑張る決意です。」

②「あたえられた環境に適応せよ」  
③千仞橋から見る紅葉 (根井)



議員番号6

おの であら ゆたか  
小野寺 豊 議員

(下明内)  
産業常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員

①村民の皆様が夢と希望と誇りを持てる村づくりを目指し、気概を持つて誠心誠意村民の皆様と手を携えて活動して参ります。」

②「有言実行」  
③日形井地区のアジアの館のたたずまい



議員番号7

まえかわ やすお  
前川 安男 議員

(南浜)  
総務教民常任委員会 副委員長  
議会運営委員会 委員

①この度は、皆様方のご支持をいただき、大変ありがとうございました。これから村民の声を村政に反映して住みよい村づくりの為に努力してまいります。」

②「短気は損気」  
③和野平地区からの野田湾の展望



議員番号8

おの であら きよたか  
小野寺 清貴 議員

(横町)  
産業常任委員会 副委員長  
議会運営委員会 副委員長

①多くの皆様に支えられ、野田村の未来への重責を胸に、現役子育て世代、野田村民の一人として、村民の声に耳を傾け、若手世代から発信し、これまで野田村を育んでこられた先輩各氏も巻き込んだ活力ある野田村の実現へ努力いたします。」

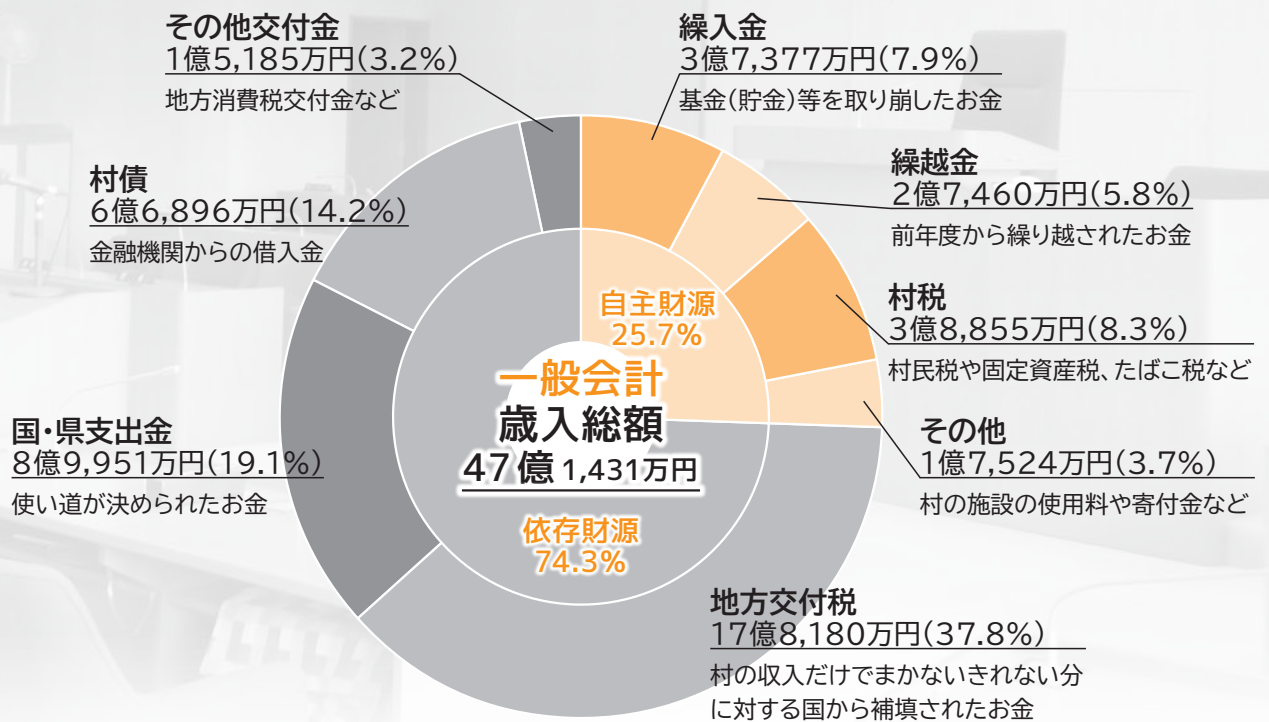
②「隻手音声」  
③玉川野営場

## 一部事務組合 など

- 久慈広域連合議会議員 . . . . . 丹野 和子、中川 昇
- 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員 . . . . . 山田 陽子
- 監査委員 (議会選出) . . . . . 小野寺 豊

# 令和4年度決算認定される

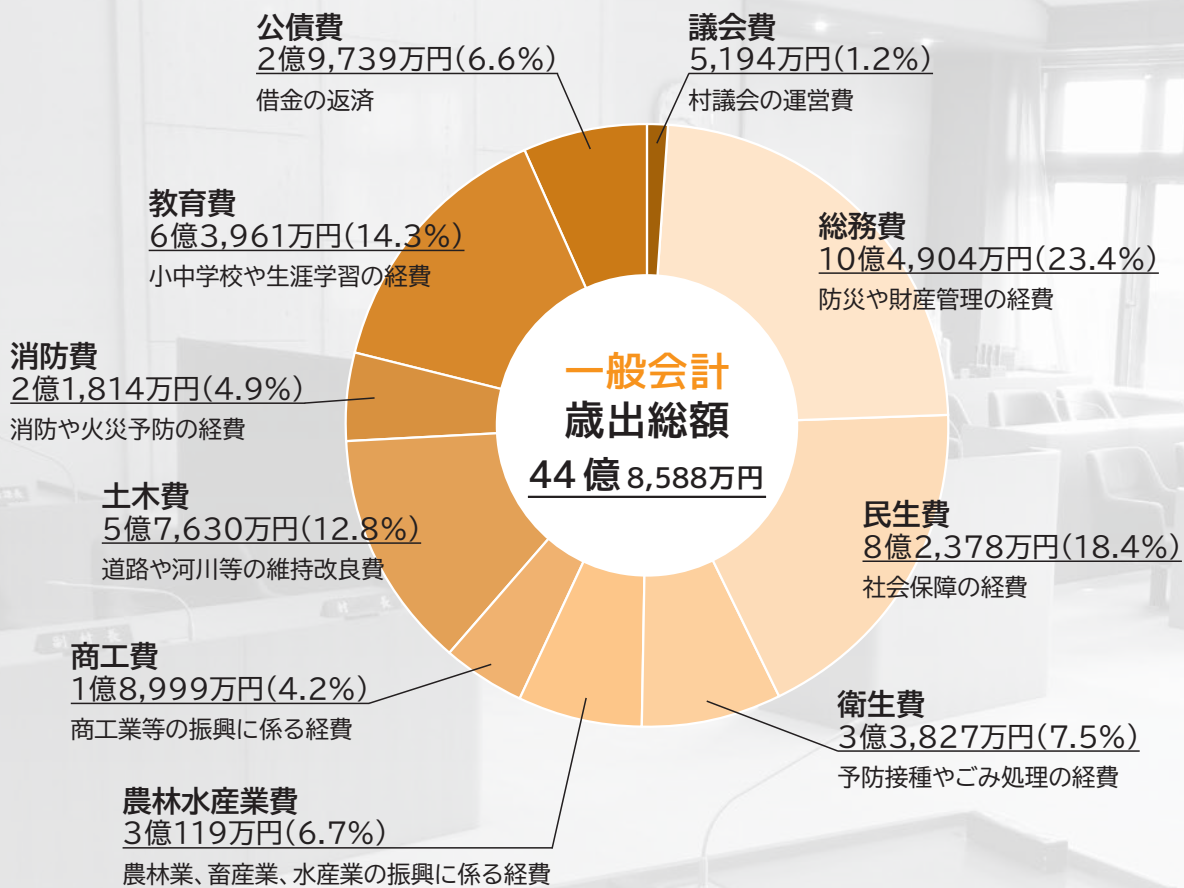
9月定例会では、令和4年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算認定について、議長を除く議員9名で構成された決算特別委員会（山田陽子委員長）で9月11日・12日の2日間にわたり審査を行いました。審査の結果、いずれも認定すべきものとして、9月13日の定例会本会議で報告しました。



## 令和4年度の決算状況

各会計	決算額		収入未済額 (税金の滞納など)	
	歳入(収入)	歳出(支出)		
一般会計	47億 1,431万円	44億 8,588万円	4,234万円	
特別会計	国民健康保険事業	4億 6,625万円	4億 5,996万円	801万円
	後期高齢者医療	4,694万円	4,672万円	68,200円
	農業集落排水事業	5,159万円	4,788万円	3,070円
	漁業集落排水事業	1,688万円	1,277万円	0円
	公共下水道事業	2億 8,004万円	2億 5,014万円	833万円
	簡易水道事業	1億 6,707万円	1億 5,573万円	86万円
	国民宿舎事業	5,918万円	5,888万円	0円
合計	58億 229万円	55億 1,801万円	5,962万円	

※金額は表示単位未満を切り捨てして表示しているため合計と一致しない場合があります。



### 用語解説

- 自主財源 …… 村民税や村の施設の利用料など、村が自主的に収入することができるお金のこと。
- 依存財源 …… 国や県からもらう国・県支出金や交付金、村債などのこと。
- 地方交付税 …… 全国どこに住んでいても、一定水準のサービスを受けられるよう国から配分されるお金のこと。
- 村債 …… 村の借入金をいい、収入の一種であるが、将来償還しなければならないお金のこと。

### 監査意見

令和4年度各会計の決算の審査等は、去る8月2日から8月30日までの間、会計管理者所管の関係証拠書類及び各課等の関係書類に基づき、審査を行うとともに必要に応じて各課職員の説明を聴取し、また、例月現金出納検査の結果等を参考として、実施したところであります。

その結果、審査に付された各会計歳入歳出決算書等は関係法令に準拠して作成されており、その計数は証拠書類と合致しているものと認められました。また、各会計の予算執行及び関連する事務処理については、概ね適正であると認められました。



小野寺 豊  
議会選出 監査委員



中村 司  
代表監査委員



# 9月 定例会

## 野田小学校

### 待望の整備工事決まる

第1回野田村議会定例会が令和5年9月6日から13日までの8日間を会期として開会されました。  
本定例会では、一般会計補正予算など議案13件、報告3件、認定8件について審議を行いました。



☆ 野田小学校イメージ図 ☆



野田小学校整備工事を22億7700万円で、株式会社新田組・北星鋳業株式会社特定共同企業体と請負契約を締結することが可決されました。  
鉄筋コンクリート造2階建ての校舎と鉄骨造の体育館のほか校庭排水施設等を整備するもので、工事期間は令和7年7月31日までの予定です。

## 令和4年度 経営状況(経過及び成果等)報告

### 株式会社 のだむら

【現状経営の安定化のため各地物産展への出店PR、宿泊等割引プランの参加、やすらぎホールえぼし(通夜施設)利用促進などを進めている。令和4年度は、1552万3000円の赤字。

#### 【物産館ばあふる】

年間で延べ19万6682人が来館したが、前年度と比較し1万9321人、8.9%の減少。

#### 【国民宿舎えぼし荘】

宿泊者及び日帰休憩者数は前年度を上回ったが、コロナ前の令和元年度から比較すると61.3%売り上げが減少。

#### 【のだ塩工房】

物価高騰や消費者の購買力の低迷、燃料費(木材)の高騰など、前年度と比較し、26.6%の減少。

#### 【源海の丘ワイナリー】

売上高は前年度と比較すると増加したが、醸造本数が少なかったこと、販売が伸びる棚卸でのワインが減少したことで1514万円の赤字。

#### 【主な質疑】

Q..醸造本数の推移は  
A..近年は毎年2000本程度  
Q..貯蔵本数は  
A..現在の在庫は2万2900本

### 株式会社 涼海の丘

山ぶどうの生産販売など、野田村地域おこし協力隊員等の協力を得て、直営の山ぶどう園地の適正管理や県から提供されたワイン醸造用有望葡萄苗の現地栽培実証等各種作業など展開しました。令和4年度は、56万7000円の黒字。



野田村ふるさと学習「山ぶどう収穫体験」

# 村政を問う

一般  
質問

議員 **4** 人が登壇

**一般質問**は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができます。定例会でのみ（原則）行うことができます。質問時間は、1人 **60分まで**となっており、1つの質問につき **3回まで**質問することができます。

小野寺 豊 議員 (p8)

ドローン

積極的な利活用を促進すべき



丹野 和子 議員 (p9)

新型コロナウイルス感染症

5類移行後の対策を



中川 昇 議員 (p10)

带状疱疹ワクチン

助成制度の取り組みを



山田 陽子 議員 (p11)

環境整備対応

公共施設・職員庁舎等へエアコンを



## 積極的な利活用を促進すべき



小野寺 豊 議員

## 村長 可能な限り活用していく

**問** 村所有のドローンは、温度管理の整った、広域消防野田分署に保管依頼しているとの説明であったが、現在は。

**村長** 現在も久慈消防署野田分署に保管している。

**問** 村職員でドローンの操縦有資格者は何人か。

**村長** 飛行訓練を行い操縦が可能な村職員は2名である。

**問** 定期的な自主点検、操縦訓練の実施状況は。またドローン導入から現在まで、機体の点検、操縦訓練以外での飛行の回数と目的の実績は。

**村長** 野田分署員が月に1回程度点検を兼ねて操作訓練を実施している。現在までの飛行実績については、回数の把握はしていないが、復興事業の記録や

火災現場での原因調査の写真撮影等に活用している。

**問** 昔は空からの撮影記録はなかなか困難であったが、今日ではドローンが多方面で劇的な活躍をみせている。村、学校行事の記録作成に積極的な活用としては。

**村長** 火災現場の調査活動や、消防団の特別点検、令和元年には「シバザクラいっぱいプロジェクト」の十府ヶ浦公園でのイベントでの記録に活用している。今後も可能な限り活用していきたい。

## 早急な対応を

**問** 宇部川に架かる国道45号線野田橋から下流水門スライドゲートまで約60メートルの区間では長期にわたり土砂の鋤取り、搬出がされず、上流川よりも相当の高さで、土砂の堆積が見られる。さらに三陸鉄道橋の海側の端から水門

までの距離約30メートル、川幅約30メートルの範囲は、太いもので直径10センチメートル程の柳の木の間である。大雨等増水時上流からの支障物が引っ掛かる等で流れの妨げとなり、堤防の越水誘因因子となり大変懸念される。河川管理者の岩手県に対し早急な対応を要請しては。

**村長** 県からは、「県管理河川の河道掘削については、今後も、防災・減災の観点から対策に必要な予算を確保し、緊急性が高い箇所について、優先的に



堆積土砂の撤去や支障木除去を進めていく」との回答があった。現況は報告しているため、早急に対応していただくよう要請する。

**問** 水門は上げ下げ式スライドゲートであり、ゲート下に土砂が堆積し水門が閉鎖できないことも考えられる。これから台風季節、猶予がない状態だが。

**村長** 話があった以降、現場確認し現況を報告して早急な対応を要請している。今後も状況等を見ながら対応していただくよう何回でも要請したい。



# 5類移行後の対策を

## 村長 ワクチン接種を継続する



丹野 和子 議員

### 問

新型コロナウイルス感染症は5月8日から5類に移行した。移行後のワクチン接種の計画はどのようになっているか。

### 村長

今年5月から6月にかけ、65歳以上の方々は6回目のワクチン接種を実施した。9月末から12月にかけて、生後6か月以上のすべての村民を対象としたワクチン接種を実施する予定である。



### 問

本村ではインフルエンザワクチンは無料である。今後、新型コロナウイルスのワクチン接種も無料にできないか。

### 村長

今後の感染状況、全国的な動きを見ながら考えていく。現段階ではそのような考えは持っていない。

### 問

抗体検査キット等は高額であり、購入に補助を出してはどうか。

### 村長

マスクや消毒薬、検査キットなどの感染対策に必要な物品は、各家庭で準備してほしい。

## 高齢者への援助は

### 問

高齢者が感染した場合、これまでのように登録や自宅療養の要請がなくなる。一人暮らしの高齢者等に対し村の援助が必要ではないか。

### 村長

感染や体調に不安のある方は、地域包括支援センター又は村の保健センターに相談してほしい。

### 問

高齢者の感染確認に高齢者安否確認事業、地域支援事業などを利用できないか。

### 村長

高齢者の体調確認は現在実施している事業の範囲内でもできることがあると思うので、どのよ

うなことができるのか今後検討していく。

## 国民宿舎えぼし荘の経営見直しについて

### 問

村では株式会社のだむらに、えぼし荘の指定管理料として、令和3年度から5年間、年額1500万円を上限に支出するとの報告があった。コロナ感染症が5類に移行したことなどから、予定より早く経営改善ができないか。

### 村長

震災後の復興事業等の完了や新型コロナウイルス感染症の影響などによる経営環境の悪化に対応し、令和3年度から5箇年の計画で、指定管理料を増額して、経営の安定化及び施設の適正な維持管理に取り組んでいる。令和4年度までの収支は改善した面も見られるが、交付金事業の利用等も含むもので、本質的な経営安定化には更なる時間を要するものと認識している。



# 助成制度の取り組みを



中川 昇 議員

## 村長 50歳以上対象に予防接種費用助成

**問** 带状疱疹は免疫力低下等により発症すると、日常生活に支障をきたすほどの激痛や難聴、視力低下といった合併症等、深刻な健康被害を起こす。ワクチンが発症等に高い予防効果を発揮することが確認されているが、公費負担がなく接種を諦める人が多いといわれる。発症防止対策は喫緊の課題であり、ワクチン接種の助成制度が必要と考えるが。

**村長** 加齢やストレスなどで免疫力が低下した場合に皮膚や神経に炎症を起こす带状疱疹は、50歳以降に発症することがあり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれる。接種費用の助成について、本定例会補正予算に計上し、50歳以上の方を対象に予防接種に要する費用の2分の1、1回1万円を上限に助成を考えている。

### 久慈工業高校と久慈東高校の統合計画は

**問** 両校の統合については昨年度県教育委員会の方針が示され、令和7年度を目標に新たな学校を設置するとしている。統合検討会議が立ち上げられているが、今後のスケジュールと検討項目は。

**教員** 第1回目の会議が6月に、2回目の会議が8月に開催され、新設校の校名案や校舎制の在り方、学校教育目標や校章、校歌、制服の決め方等について検討し、今後、年度内に2回の会議が予定されている。\*スクール・ポリシーや部活動の在り方等、統合新設校の根幹に関わる検討が進められる予定である。

**問** 校舎は「独立校舎型」で、現在の両校舎及び実習施設を有効に活用するとしているが、特に運動部は久慈工業高校グラウンドを最大限活用することが望まれるが。

**教員** グラウンドの活用については、今後の検討会議で部活動の在り方等が明らかになった後に、検討が行われるものと考えている。

**問** 工業学科は1学級を2コースは、学科、コースは、第2回目の会議で全国的な動向や建築と土木の学びが久慈地域の産業を支えてきた状況を踏まえ、電気・

情報・機械制御などを学ぶ「機械コース」と、土木・木材加工などを学ぶ「建設コース」が設けられる。



### 未就園児への対応は

**問** 未就園児の家庭は孤立しやすく困難を抱える傾向があり、子育て家庭に温かい目を向けることが孤立を防ぎ、支援につながりやすい社会の一歩になるとの国の調査研究報告があるが、どのように関わっているか。

**村長** 生後1カ月からの乳児健診までの定期的な健診等による要支援家庭の把握に努める。3歳児以上で保育所等を利用していない児童に関しては、地域子育て支援センターでの相談や保健師が相談支援を行っている。

**問** 就学前に行政との関わりがない「空白期間」に対し、アウトリーチでの支援を行うべきと考えらるが。

※アウトリーチ・直接的に出向いて必要とされる支援に取り組む

**村長** 状況確認ができていない児童はいないが、訪問支援による個別相談を行っている。

### 物価高騰対策を

**問** 円安やロシアによるウクライナ侵攻等が影響し、村民の生活や生業に不安が増している。急激な物価高騰等に伴う消費マインドの悪化や購買力の低下を通じ、民間消費や企業活動の減退を招く可能性もある。切れ目のない支援が必要と考えるが。

**村長** 世界情勢や経済情勢の不安定化による物価高騰は、村民の生活や生業に多大な影響を与えており、消費行動の低下や企業活動の減退など大変憂慮すべき状況が続いている。本村独自の支援策は、社会情勢や国の動向を注視し、財源の確保とあわせ必要対策を検討していく。





山田 陽子 議員

環境整備対応

公共施設・職員庁舎等へエアコンを

村長 庁舎等へ整備を検討する

**問** 体育館や総合センター等公共施設及び職員庁舎等の環境整備の対応を。

**村長** 村民など来庁者への行政サービスの向上、職員健康管理等の観点から整備を検討する。

点検等結果は公表すべき

**問** 村内に埋設の猛毒除草剤について、年2回の定期点検を実施しているが、この結果を広報等で公表するべきではないか。

**村長** 毎年2回、関係機関と合同で定期点検を実施。加えて台風直後及び2年に1度、埋設箇所の流域で水質検査を実施している。今後は点検結果等を住民へ知らせるよう検討していく。



**問** 国に対して、撤去を求めていく事への対応は。

**村長** 撤去要望は毎年行っている。しっかりと検査しながら対応していく。

敬老の意への検討結果は

**問** 敬老会へ出席できない方への敬老の意をどのように検討されたのか。

**村長** 現行の長寿記念事業は継続し、今年度から長寿のお祝いとこれまでの感謝の意を敬老会名簿にあわせて配布し、敬意を表したい。

**問** 敬老会に対する住民の意識変化について、傾向を見極めていくために経年的に統計を取る事が必要ではないか。過去10年の出席率は。

**村長** 過去10回の出席率は、平成23年度32%が最も高く、平成24年度29%で徐々に減少傾向、対面会食形式の最終年の令和元年度が20%、今年度は16%近くになる。

可燃ごみ収集回数基準は

**問** 可燃ごみの収集回数は、週に1回と2回の地域があるがこの基準は。

**村長** 当初の明確な基準は確認できなかったが、世帯数、人口、集積場所の箇所数及び排出量等、地域状況で現在の収集回数になったと考える。

**問** 東日本大震災以降各地域の様相の変化をどのように考えるか。

**村長** 地区によっては世帯数や人口に大きな変動があり実態把握をしていく。

**問** コンポストや生ごみ処理機の補助の効果は。

**村長** 生ごみ処理機購入による排出量の減少効果の把握は困難だが、全体の排出量減少にはつながり、今後も助成を継続する。分別収集の徹底、食品ロス対策など更なる減量化に取り組む。

**問** 助成だけでなく抜本的な対策が必要だと考えるか。

**村長** 少しでもごみを減らす、生ごみは水分をしっかりと切つて出すなど、ご理解ご協力いただけるようPRし、全体量を少しでも減らすように取り組む。

大雨避難指示への対応は

**問** 8月11日からの大雨で避難指示が出されたが、具体的にどのような対応を行ったのか。今後の対応策は。

**村長** 横合地区は降雨状況から発令前日に自主避難所を開設し対応した。今後も早期に避難情報の発令等行っていく。

**問** 被害状況と対応策等は。

**村長** 砂利道の流出4箇所、法面崩落1箇所。今回の補正予算に計上し対応する。

投票率アップの取組みは

**問** 投票行動を高めるための対応策が必要では。

**村長** 期日前投票など関心を持ってもらおうよう更なる周知を図っていく。

4月の統一選挙に戻して

**問** 野田村議会議員選挙の期日は、東日本大震災以降止む無く、7月に変更になったが、国や県内の東日本大震災で被害のあった自治体へ働きかけて戻すことができるのか。

**村長** 震災時の臨時特例に関する法律で選挙期日が定められている。様々な意見があると思うが、当村だけの問題ではないと考えるので、ご理解いただきたい。

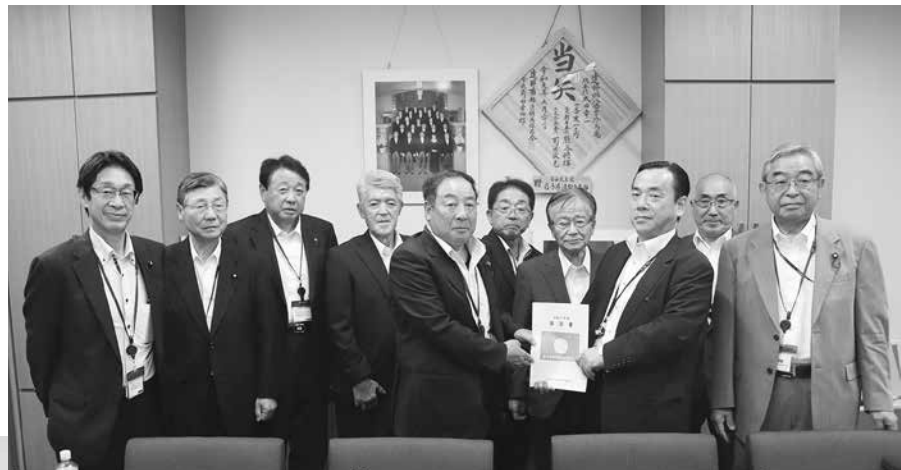
## 主な議会の動き

### ● 8月 ●

- 1日 市町村要望（久慈市）……………議長、副議長ほか
- 1日 県北広域振興局長等との懇談会（久慈市）……………議長
- 8日 議員全員協議会……………議員
- 10日 第1回野田村議会臨時会（初議会）
- 21日 県選出国會議員に対する要望活動（東京都）……………議長、副議長
- 22日～23日 中央研修会・県選出国會議員との懇談会（東京都）……………議長、副議長
- 22日 八戸・久慈自動車道整備利用促進期成同盟会要望活動（久慈市）…産業常任委員長
- 25、27日 野田まつり……………議長、副議長

### ● 9月 ●

- 6日～13日 第1回野田村議会定例会
- 9日 野田村保育所運動会……………議員
- 14日 知事を囲む懇談会（盛岡市）……………議長
- 16日 日向保育所運動会……………議員
- 20日 野田村敬老会……………議員
- 23日 漁港検診（玉川漁港）……………議員
- 29日 泉沢部落会二百十日祭（泉沢地区コミュニティセンター）……………議長
- 29日 北部地区町村議会議員研修会及び情報交換会（洋野町）……………議員



9月23日 漁港検診



8月21日 県選出国會議員に対する要望活動



## 議案一覧 第1回臨時会 8月10日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
議案第1号	「玉川漁港漁村再生交付金事業（内港防波堤新設及び南防波堤）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて」 ➡玉川漁港漁村再生交付金事業（内港防波堤新設及び南防波堤）工事の請負契約を締結しようとするもの	可決 (賛成全員)
議案第2号	「監査委員の選任に関し同意を求めることについて」 ➡議会選出の監査委員として、小野寺豊氏を選任するもの	同意 (賛成全員)
発議案第1号	「野田村議会委員会条例の一部を改正する条例」 ➡議員の定数の改正に伴い、常任委員会及び議会運営委員会の委員定数を改めようとするもの	可決 (賛成全員)

## 議案一覧 第1回定例会 9月6日～9月13日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
報告第1号	株式会社のだむらの経営状況に関する書類の提出について ➡「株式会社のだむら」の経営状況などを報告するもの	
報告第2号	株式会社涼海の丘の経営状況に関する書類の提出について ➡「株式会社涼海の丘」の経営状況などを報告するもの	—
報告第3号	令和4年度決算に基づく野田村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について ➡村の財政・経営状況などを報告するもの	
認定第1号～ 認定第8号	令和4年度野田村一般会計・各特別会計歳入歳出決算認定について ➡令和4年度の一般会計・各特別会計の歳入歳出決算を認定するもの	認定 (賛成全員)
議案第1号	令和5年度野田村一般会計補正予算（第3号） ➡予算総額に歳入歳出それぞれ1億9,018万円を追加し、総額を44億7,430万1,000円とするもの	
議案第2号	令和5年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ➡予算総額に歳入歳出それぞれ182万7,000円を追加し、予算総額を5億2,264万1,000円にしようとするもの	
議案第3号	特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 ➡東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするもの	可決 (賛成全員)
議案第4号	下安家漁港漁村再生交付金事業（沖防波堤）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ➡下安家漁港漁村再生交付金事業（沖防波堤）工事の請負契約を締結しようとするもの	
議案第5号～ 議案第12号	農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて ➡農業委員会の委員を任命することについて議会の同意を求めるもの	同意 (賛成全員)
議案第13号	野田小学校整備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ➡野田小学校整備工事の請負契約を締結しようとするもの	可決 (賛成全員)

※議長は採決に加わらない

### 議会傍聴に お越しく下さい

村議会定例会は、3月・6月・9月・12月に行われています。傍聴の手続きは、受付簿に必要事項を記入するだけなのでとても簡単です。村の将来やあり方についての議論を直接聞くことができます。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は 12月です

### 廣内前議長に感謝状



廣内和之前議長に、岩手県町村議会議長会より、感謝状が贈呈されました。議長を1期4年務め議会運営並びに県議長会の会務の運営に功労があったことで贈られました。

## 議会だよりクイズ

### 問題

村議会議員は何人でしょう？

- ① 8人
- ② 10人
- ③ 12人

【前号の答え】 ① 4回  
【当選者】 尾崎羽奈さん

正解者の中から抽選で3名の方に「野田村共通商品券」をプレゼント!

#### 【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

#### 【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14  
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで。  
FAXの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】 11月24日消印有効。

#### 【当選発表】

次回号で当選者(特に断りが無い限り氏名)を発表します。

### あとがき

これまでにない猛暑の夏が過ぎ、ようやく秋らしくなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

議員定数が10名(2名減)になって初めての選挙で当選した議員の紹介や初定例会の様子を中心に掲載しましたがいかがだったでしょうか。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行されましたが、まだまだ油断はできない状況です。加えて、インフルエンザも流行っているようです。皆様、手指消毒やうがいなどの対策で感染しないようにしましょう。

この度、広報編集委員会委員長になりました。多くの皆様にご読んでいただけるよう工夫して参りたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

前川安男

#### 発行責任者

議長 米田忠一

#### 広報編集委員会

委員長 前川安男

副委員長 中山陽子

委員長 中川大和

委員 米田徳一郎